

北陸新幹線の整備促進について

北陸新幹線は、首都圏と関西圏を日本海側経由でネットワーク、東海道新幹線の代替機能を持ち、沿線人口の集積、鉄道需要も大きく、国土計画上「合理的にも優先して整備すべき路線」です。

また、本県の国のエネルギー政策に対する大きな貢献を踏まえ、「新幹線をはじめとする地域振興」について、政府全体としてしっかり対応するとされており、着実に実行・実現されなければなりません。

整備新幹線問題検討会議において、北陸新幹線は、敦賀以西の整備のあり方が課題として示されているが、地元として障害となる課題はなく、沿線のまちづくりへの影響、北陸3県の地域格差など、交通結節点である「敦賀まで」の整備は合理的であり、認可を急ぐべきです。

については結論を先送りすることなく、北陸新幹線の県内整備を一日も早く実現するよう、次の事項の実現を強く要望します。

- 1 年末の政府予算案の編成までに、「敦賀まで」の新規着工を決定し、今年度中に認可・着工すること**
- 2 来年度政府予算において、新規着工に係る予算を確実に確保すること**
- 3 新規着工財源については、鉄道・運輸機構の「特例業務勘定の利益剰余金」や貸付料の活用等により、最大限確保すること**

平成22年12月13日

福井県知事 西川 一誠